

科目区分：人間科学科目

授業科目名	人間の科学（子どもの心とからだ）					学期	曜 日	校時
英 語 名	Human Sciences (Pediatric Psychology)							
担 当 教 官 名	○木下 英一 宮副 初司 上玉利 彰	単位数	2 単位	必修 選択	選択	前期	火曜日	4 校時
授 業 の ね ら い ・ 内 容 ・ 方 法								
ヒトは細胞期に始まり胎芽期、胎児期、新生児期、乳児期、幼児期、学童期、思春期へと成長発達する。その過程を、生理と心理の両面から概観し、各時期の特徴ならびに各時期特有の身体的・精神的問題について概説し、子どもの身体とこころの発達過程とその破綻によって起こる社会的問題について考察できるようにする。								
テ キ ス ト 、 教 材 等								
授業の中で資料の提示、配付を行い、参考文献を適宜紹介する。								
対 象 学 生	成 績 評 価 の 方 法				教 官 研 究 室			
全学部	各講義毎に出されるテーマについてレポートを提出し、担当教官により評価する（80%）。 授業への参加状況（20%）。							
授 業 計 画								
小児医学からみた人間発達 1) ヒトの発生、発育・発達調節機構（3～4 回） 2) 子どもの心とからだの発達過程とその問題（3～4 回） ・ 児童虐待 ・ いじめ ・ 少年犯罪（長崎での少年事件） ・ 肥満とその合併症 など 3) 性の分化とその異常（3～4 回） ・ sexual identity とは ・ 性同一性障害とは ・ 環境ホルモンは性の分化に影響を与えるか？ など 3) 病気を持った子どもとその家族の心理（3～4 回） ・ 子どもたちそしてその家族をいかに支えるか 他 高校の生物を復習しておくことが望ましい。 各講義で出題されたテーマについて図書館、あるいはネット等でさらに情報を収集し、レポートを作成、次週の講義までに提出する。（収集した情報から、自分の考えを分かり易く説明し、結論を導くことを主眼とする。） 質問受付：メール アドレス：eiichi-k@net.nagasaki-u.ac.jp								